

※今後変更となる可能性あり。

### 事業概要

- 本事業では、国が主導する「沖縄交通リ・デザイン」の取り組みと連携し、県民等参加型のワークショップ等を実施する。
- 本県の地域公共交通計画を着実に推進していくためには、地域の事情やトレンド等を踏まえたうえで必要な対応を検討する必要がある。本事業により収集した県民目線のリアルな意見等については、当該計画や関連施策の随時必要に応じた見直しに役立てていきたい。

### STEP.1 講習 & ワークショップ 1 回目

- ① 各圏域毎の地域公共交通に係る概要等を講習し、受講者に必要な情報（新たな公共交通システムに係る情報を含む。）をインプット
- ② 講習の後、各自の実生活を踏まえた問題・課題等について、受講者同士で自由な意見として発表・検討
- ③ 発表・検討した問題・課題等に対し、理想はどうあるべきか等について、相談・検討し、まとめる。

### STEP.2 実証等

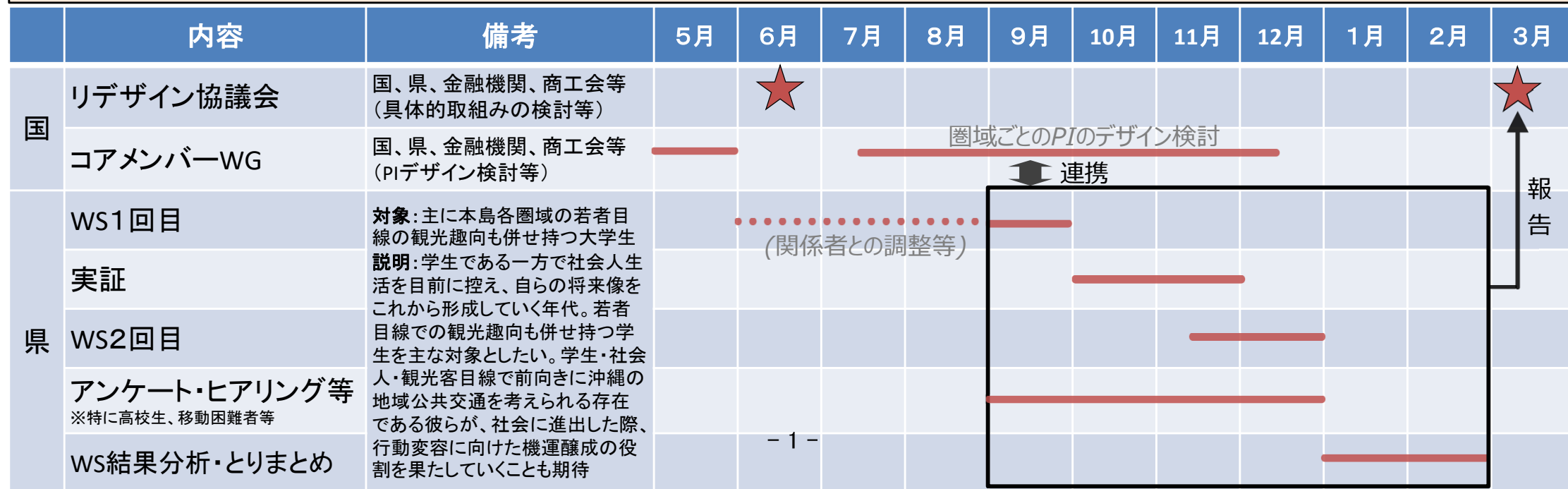
- ワークショップでまとめた理想の姿等を踏まえたうえで、実生活の中で積極的な公共交通利用等に取り組んでもらう。
- この際、公共交通を活用するインセンティブの検討が必要

### STEP.3 ワークショップ 2 回目

- 受講者に再度集まってもらい、実証期間で感じたことを話し合い、1 回目と同様に問題・課題、理想の姿等について、再度検討し、まとめる。
- 実証前後における意見等の変化を確認し、地域の公共交通の奥深さを体感するとともに、よりリアルな意見等の抽出する。

- 現時点で想定する実施校は次のとおり。  
 【北部圏域】名桜大学、沖縄工業高等専門学校 他  
 【中部圏域】琉球大学、県立高等学校（1 校以上） 他  
 【南部圏域】沖縄大学、県立高等学校（1 校以上） 他  
 ● 県立高校は、STEP1のみとなる場合もあり得る。

- 各校関係者と調整のうえ、当該WS参加者が地域住民等へヒアリング調査を行うなどのフィールドワーク等に対する支援（テーマ・設問設定等）も実施
- 当該WSの他、本島の県立高等学校及び交通弱者等へのアンケート・ヒアリング等も実施



# 令和6年度沖縄県交通デジタルシステム活用検討業務

## 事業概要

令和5年度に開催された「沖縄交通リ・デザイン実現検討会」において、沖縄県は自家用車前提のライフスタイルが深く根付き、これまでの経済成長を支えてきた一方で、そのようなライフスタイルが慢性的な交通渋滞の発生や、それに伴う環境負荷の増加など、生活・社会・経済の質の低下につながる要因となりつつあるとされ、そのような状況を改善するべく「ライフスタイルの転換」と「公共交通の利便性向上」の二つの取組について、官民が連携して一体的に取り組む必要性が示された。

本業務は、先の二つの取組に対して、交通系決済システムの面からアプローチし、沖縄県における交通決済システムと交通データの活用に向けた「今後の方向性」(案)についての検討するものである。

## スケジュール

	内容	備考	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国	リデザイン協議会			★									★
	コアメンバーWS		—		—	—	—	—	—	—			
県	発注～契約			—									
	現状・課題整理/事例収集				—	—	—	—	—	—			
	今後の方向性(案)検討 ※検討委員会含む				—	—	—	—	—	—	—	—	

報告

# わった～バス利用促進乗車体験事業について



## 事業目的

県民に路線バスを利用する機会を提供することで、車にはないバスならではの良さを体験してもらい、過度な自家用車利用から適度なバス利用への転換を促進する。

## 取組概要

- 路線バスの運賃を終日無料
- 9月4日（水）から29日（日）までの毎週水曜日と日曜日の 計8日間

## 対象について

- 沖縄県内（離島含む）の一部を除く、ほぼ全ての路線バス及びコミュニティバスを対象とする。
  - ▶ 琉球バス、那覇バス、沖縄バス、東陽バス、東京バス等の本島を運行する路線バス
  - ▶ 伊江島観光バス、宮古協栄バス、東運輸等の離島を運行する路線バス
  - ▶ 県内市町村が運行するコミュニティバス

※ 「リムジンバス」、「定期観光バス」、「高速道路を走行するバス（系統番号111番や117番等）」等は対象外

※ なお、対象路線の最終的な確定に向けて、現在、バス事業者及び市町村と調整中

【お問い合わせ】

交通政策課

098-866-2045

